



見て、さわって楽しめる

ラムズイヤーのトトロ



【よいところ】

- ① 仕上がりがかわいい
- ② 簡単に作ることができる
- ③ 室内でできる
- ④ 材料費が安い
- ⑤ 作りながら手触り、香りが楽しめる

【準備するもの】…1 匹分

- ・ラムズイヤーの葉(4~5枚)…本体用
- ・ラムズイヤーの葉(新芽2枚*あれば)…耳用
- ・卵の殻(底穴をあけて中身を抜き、洗って乾燥したもの)
- ・ローズマリーの葉 ・ひげ用の細い茎(エノコログサなど)
- ・和紙 ・フェルト(白・黒) ・化粧用コットン(1) ・つまようじ
- ・豆 または小石 ・木工用ボンド ・はさみ ・油性マジック

【手順】

- ① 安定をよくするために、おもりとして豆(小石などでもよい)を卵の殻に入れて、和紙(てんぷら紙、障子紙などでもよい)を貼りつけてふたをします。
* 周りに小さな切り込みをいれておくとうまくなじみます。
- ② 卵の殻に木工用ボンドをつけ、ラムズイヤーの葉を全体に貼ります。卵の大きさ、ラムズイヤーの葉の大きさにより変わってきますが、大体4~5枚で全体を貼ることができます。
* 少しずつ重ねて貼っていきとすきまができません。
* 全部貼ったあと、そっと両手で優しく包むようにするとなじみます。
- ③ 底の部分の余った葉を切り、安定させます。
- ④ 顔のパーツを(耳、目、鼻)を木工用ボンドで貼ります。
* 耳は紙を切ったものでも構いません。
* 小さな目はパンチで抜くと作業が簡単です。
- ⑤ おなかの部分に化粧用コットンを切ったものを貼ります。
* コットンは厚みがありすぎるので、厚みを半分に割いて使います。
- ⑥ おなかのもよう(ローズマリーの葉)をへの字に7つ貼りつけます。
* 細かな作業が苦手という方は、マジックなどで書き入れてもいいでしょう。
- ⑦ ひげをつける。
* 写真はエノコログサの茎を乾燥させたものを使用しました。
* 木工用ボンドを盛り上げるようにつけ、そこに挿しこんで乾かすとうまくつけることができます。
- ⑧ ボンドがしっかり乾いたら、最後に油性マジックで目を入れて

作業工程



ラムズイヤーってどんな植物？

- * シソ科の植物。葉や茎は銀白色の綿毛おおわれ、全体が白っぽく見えます。葉の形は先端がゆるくとがった楕円形です。ラムズイヤーの名前はこの葉の形と毛並みから来ています。英語で「子羊の耳」という意味があります。

ローズマリーってどんな植物？

- * シソ科の植物。葉は表面が濃い緑色で、裏面は銀灰色をしています。集中力、記憶力を高めるハーブとしてよく知られています。



【園芸療法士の声】

- ・ラムズイヤーの葉はフワフワとして柔らかく、ぬくもりがあります。また、葉裏をこするとメロンのような香りがします。クラフトの楽しさとともに、手触り・香りの心地よさを楽しめるのでおすすめです。
- ・耳の材料に小さな葉、鼻にたねなどを利用するといろいろなトトロができあがります。
 - * アサガオのたねを使う場合、たねに毒性がありますので、誤って口に入れたりしないよう気をつけましょう。
- ・表情豊かなトトロを楽しんで下さいね。
- ・本当に可愛いですよ！
- ・みんなで作ってできあがった作品を見せ合うと、自然に会話もはずみます。

【応用編】おなかにポプリを入れて『かおりのトトロ』



おもりの豆を入れる時に一緒にポプリを入れます。



好みのエッセンシャルオイルを1~2滴たらしめます。
* いろいろな香りを楽しんで…



底を貼る材料にはネット状のものを使います。
写真はオーガンジーを使いましたが
* 水きりネットなどもいいでしょう。

* 以降の手順は同じです。



振るとカラカラ音もするよ。

